

# デジタルスチルカメラ

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

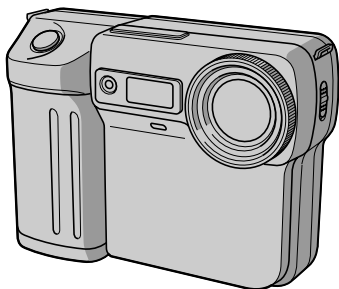


**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Digital  
Mavica  
MVC-FD81



基本

使いこなす

その他

## 必ずお読みください

本機をお使いになるには、別売のバッテリーとバッテリーチャージャーが必要です。

### ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません。

万一、カメラなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、撮影内容の補償については、ご容赦ください。

### 著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- IBMおよびPC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MS-DOSおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Netscape NavigatorはNetscape Communications Corporationの商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。  
なお、本文中ではTM、R マークは明記していません。

# 目次

お使いになる前に .....	4
各部のなまえと使いかた .....	5
<b>基本</b>	
準備する .....	8
1: バッテリーを充電する .....	8
2: バッテリーを本体に入れる .....	9
3: 日付・時刻を合わせる .....	10
撮って見る .....	12
1: 静止画を撮る .....	12
2: 動画を撮る .....	13
3: 静止画を見る .....	15
4: 動画を見る .....	15
主な電池の使用時間 / 撮影可能枚数 .....	18
パソコンで見る .....	19
<b>使いこなす</b>	
メニューで設定を変える .....	21
各設定項目の説明 .....	22
撮影のための各機能 .....	30
手動でピントを合わせる .....	30
画像に特殊効果を与える - ピクチャーエフェクト .....	30
目的に合わせて撮る - プログラムAE .....	31
<b>その他</b>	
ボタン型リチウム電池を交換する .....	32
使用上のご注意 .....	33
故障かな?と思ったら .....	35
警告表示について .....	37
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら .....	38
主な仕様 .....	39
保証書とアフターサービス .....	40
海外で使うとき .....	40
索引 .....	41

# お使いになる前に

本機はフロッピーディスクをメディアとして使用するデジタルスチルカメラです。使用できるフロッピーディスクは以下の通りです。

- サイズ : 3.5インチ
- タイプ : 2HD
- 容量 : 1.44Mバイト
- フォーマット : MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)

上記以外の3.5インチ2HDフロッピーディスクで使用する場合は、本機またはお手持ちのパソコンで初期化してお使いください。

## 本機に振動や衝撃を与えないでください！

誤作動や画像が記録できなくなることがあるだけでなく、フロッピーディスクが使いえなくなったり、撮影済みの画像データが破損することがあります。

## 湿気にご注意ください！

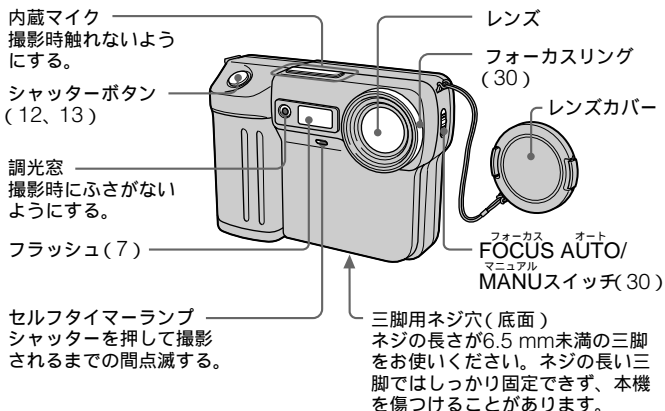
雨の日など屋外での撮影時は本機を濡らさないようご注意ください。結露が起きたときは34ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

## バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

# 各部のなまえと使いかた

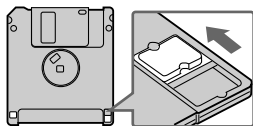
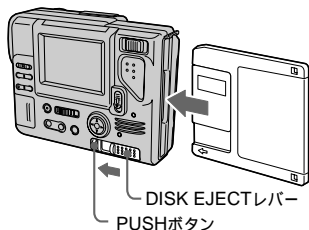
使いかたの説明は、( )内のページにあります。



## フロッピーディスクの入れかた

フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。

フロッピーディスクのタブが書き込み可能状態であることを確認する。



## フロッピーディスクの取り出しかた

PUSHボタンを押しながら、DISK EJECTレバーを矢印の方へずらす。

エルシーディー バックライト

### LCD BACKLIGHT

#### スイッチ

通常は「ON」にする。  
「OFF」にするとバッテ  
リーが長持ちする。

ブライ

### BRIGHT +/- ボタン

液晶画面の明るさを  
調節する。

プレイ スチルムービー

### PLAY/STILL/MOVIE

スイッチ  
(12、13、15)

ボタン型リチウム  
電池入れ(32)

ピクチャー エフェクト

### PICTURE EFFECTボタン

(30)

プログラム エーイー

### PROGRAM AEボタン

(31)

ディスプレイ

### DISPLAYボタン

液晶画面の表示を出したり消したりする。

ただし次の設定中は表示は消えない。

プログラムAE、ピクチャーエフェクト、手動ピント合わせ、ズーム、  
明るさ調節、AEロック、セルフタイマー、フラッシュ。

ベルト取付部

液晶画面

パワー

POWERスイッチ  
下側にずらしてON/  
OFFする。

アクセス

ACCESSランプ  
(12、15)

ディスク エジェクト  
DISK EJECTレバー  
(5)

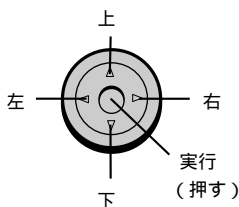
バッテリーカバー/  
オープン バッテリー  
OPEN(BATT)  
つまみ(9)

プッシュ

PUSHボタン(5)

コントロールボタン

### コントロールボタン



コントロールボタンの使いかた  
ボタンの上下左右を押して、各機能  
を実行させることができます。  
メニューの各項目は、選択されると  
青色から黄色に変わります。ボタ  
ンの中央を押すと、選択されている項  
目を実行します。

## ズームレバー

W:被写体が小さくなる(広角)

T:被写体が大きくなる(望遠)

近くのものにピントが合わないときはズームレバーを動かして広角にする。

ピントが合う距離はW側で約1cm以上、T側では約25cm以上。

## 外光採入窓

太陽光などが入ると液晶画面がより明るくなる。

## ボリューム VOLUME +/- ボタン


スピーカーの音量を調節する。

## フラッシュ/充電ランプ

## フラッシュ FLASHボタン

初期設定はAUTO。  
ボタンを押すたびに変わる。

AUTO(表示なし)→

強制発光  →

発光禁止  →AUTO

「AUTO」時は周囲の明るさに応じて自動的に発光します。

推奨撮影距離は0.5m~2.5m。


コンバージョンレンズ(別売り)を付けての撮影ではフラッシュがケラれます。

## フロッピー ディスク挿入口

## POWER ランプ (12、15)



## スピーカー

## セルフタイマー

コントロールボタンで画面上の「」を選び、押す。

シャッターを押して10秒後撮影される。

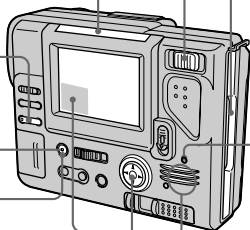
## 明るさ調節

コントロールボタンで画面上の「+EV」または「-EV」を選び、くり返し押して調節する。

+EV:明るくなる。

-EV:暗くなる。

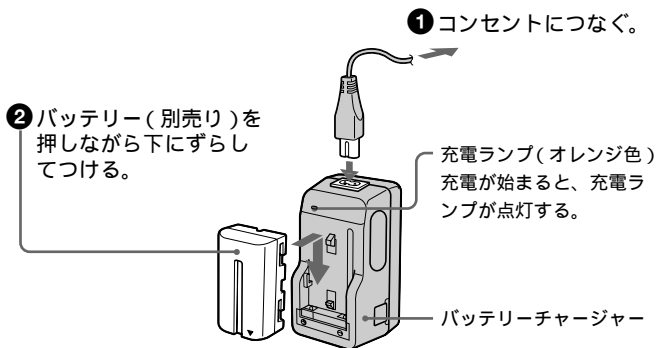
0.5EV ごとに-1.5EV ~ +1.5EVまで変えられます。



# 準備する

## 1 バッテリーを充電する

バッテリーの充電には別売りのバッテリーチャージャーが必要です。  
バッテリーチャージャーの取扱説明書も合わせてご覧ください。



### 充電器から取りはずす

バッテリーを上にはずらす。

### 充電時間

バッテリー	満充電時間*	実用充電時間**
NP-F530	約225分	約165分
NP-F550	約240分	約180分

使い切ったバッテリーをバッテリーチャージャーBC-V615で充電したときの時間です。

\* 充電ランプが消えてから、約1時間充電したとき。

\*\* 充電ランプが消えるまで充電したとき。



## 2 バッテリーを本体に入れる

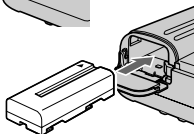
①



(底面)

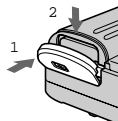
バッテリーカバーを開ける。  
OPEN(BATT)つまみを矢印の方向に  
引きながらずらす。

②



バッテリーを入れる。  
バッテリーの▼マークが奥になるよう  
に押し込む。

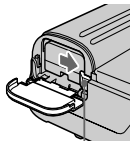
③



バッテリーカバーを閉める。

### 本体から取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずし  
レバーをずらし取り出す。  
バッテリーが落下しないようご注意ください。



バッテリー取りはずしレバー

### バッテリー残量時間表示

あと何分撮影 / 再生できるかを液晶画面に表示します。\*

使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。

\* 撮影時は電源を入れた状態の残量時間。再生時は再生画を表示した状態の残量時間。

### オートパワーオフ機能

撮影時本機の電源を入れたまま操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、約3分で自動的に電源が切れます。再び使うときはもう1度電源を入れてください。

## ⇒準備する

### 電源について

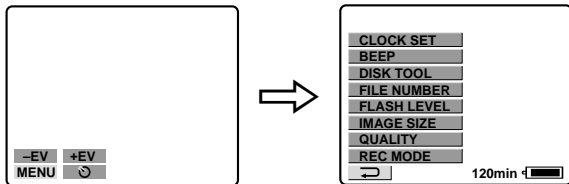
本機の電源にはインフォリチウムバッテリー\* NP-F530/F550(別売)を使用します。それ以外のバッテリーや電源はお使いになれません。

- \* ① InfoLITHIUM™(インフォリチウム)バッテリーとは  
② InfoLITHIUM(インフォリチウム)対応の機器との間でバッテリー使用状況に関するデータ通信を行うことのできるバッテリーです。本機は① InfoLITHIUM(インフォリチウム)対応です。InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

## 3 日付・時刻を合わせる

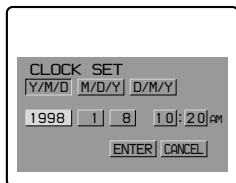
本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定します。時刻設定はMS-DOS方式のファイルに必要です。設定しないと、STILL/MOVIE(撮影)状態で電源を入れるたびに手順③の日付設定画面が出ます。

- ① POWERスイッチを下側にずらし、電源を入れる。
- ② コントロールボタンで「MENU」の「CLOCK SET」を選び、押す。



- ③ コントロールボタンでお好みの年月日の表示順を選び、押す。

Y/M/D      M/D/Y      D/M/Y  
 年/月/日      月/日/年      日/月/年



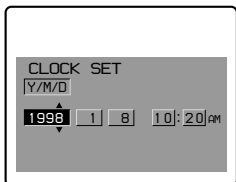
- ④ コントロールボタンで年月日および時間を選び、押す。

修正する項目の上下に▲/▼が表示される。

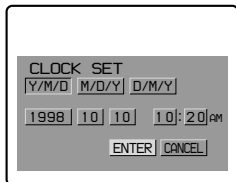
コントロールボタンの上下で数字を変更し、中央を押して確定する。

数字を確定すると次の項目に移る。

「D/M/Y」を選んだときのみ、時間は24時間表示で合わせる。



- ⑤ コントロールボタンで「ENTER」を選び、時報と同時に押す。



## 中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。

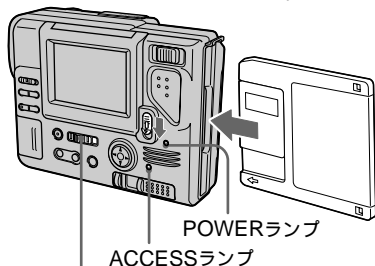
## ご注意

液晶画面に「※」が出たら32ページの手順に従ってボタン型リチウム電池を交換してください。

# 撮って見る

## 1 静止画を撮る

POWERスイッチで電源を入れ(POWERランプが点灯する) フロッピーディスクを入れておきます。



① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」にする。

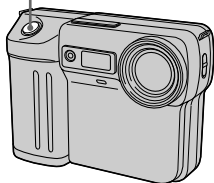
② シャッターを軽く押す。

緑の●AEロック表示が点滅する。

AE(自動露出) AWB(自動ホワイトバランス) AF(オートフォーカス)がロックされると、AEロック表示が点滅から点灯にかわる。

③ シャッターをさらに押し込む。

画像がフロッピーディスクに書き込まれる。



フロッピーディスク1枚に記録できる枚数  
お買い上げ時の設定で約10~16枚です。(23ページ)

### ご注意

フロッピーディスクに書き込み中はACCESSランプが点滅します。点滅中は、絶対に本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスクやバッテリーを取り出したりしないでください。画像データが破壊されるだけでなく、フロッピーディスクが使えなくなることがあります。

## 2 動画を撮る

① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「MOVIE」にする。

② シャッターを強く押す。

画像と音声が入力ディスクに書き込まれる。

ボタン1回押すと：5秒間録画される。

押し続けると：押し続けている間録画される。

160×112サイズ(□<sub>160</sub>)時、最大60秒

320×240サイズ(□<sub>320</sub>)時、最大15秒

動画の画像は静止画の画像に比べソフトな画像になります。

### 撮影中はこんな機能が使えます

液晶画面の明るさを調節する  
(6ページ)

フラッシュ(7ページ)\*

ズーム(7ページ)

セルフタイマー(7ページ)

明るさを調節する(7ページ)

記録モードを選ぶ

– REC MODE(22ページ)\*

画質を選ぶ – QUALITY(25ページ)\*

フラッシュレベルを選ぶ

– FLASH LEVEL(25ページ)\*

ファイル番号モードを選ぶ

– FILE NUMBER(25ページ)

画像サイズを選ぶ

– IMAGE SIZE(25ページ)

手動でピントを合わせる(30ページ)

画像に特殊効果を与える

– ピクチャーエフェクト(30ページ)

目的に合わせて撮る

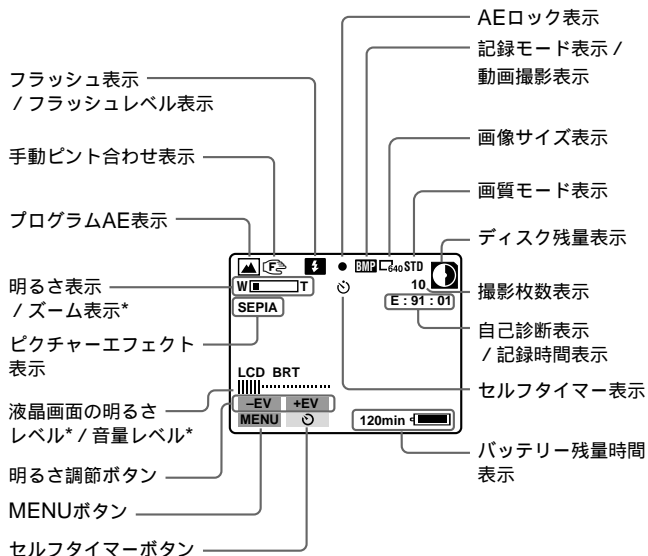
– プログラムAE(31ページ)

\* 動画撮影には使えません。

## ⇒撮って見る

### 撮影中の画面表示

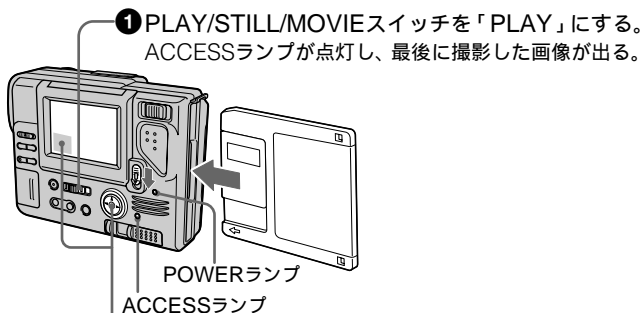
これらの表示は記録されません。



\* 操作時のみ表示される。

### 3 静止画を見る

POWERスイッチで電源を入れ(POWERランプが点灯する) フロppyディスクを入れておきます。



- ② コントロールボタンで画像を選ぶ。  
画面上のボタンを選び、押す。

◀ : 前の画像を見る。

▶ : 次の画像を見る。

INDEX : 6画面表示にする。(インデックス画面)

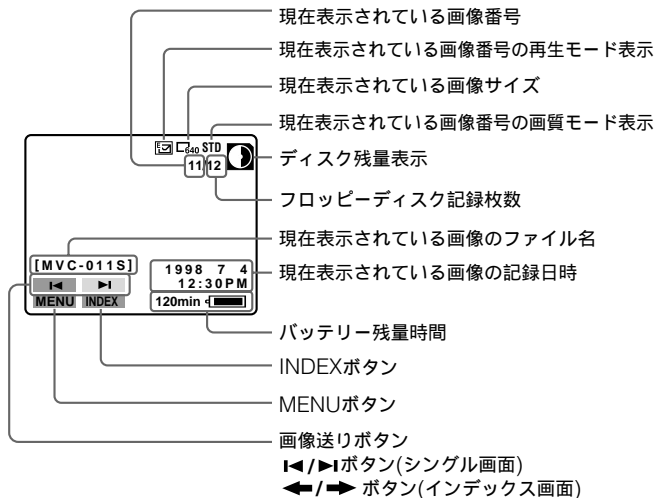
### 4 動画を見る

- ① PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。  
ACCESSランプが点灯し、最後に撮影した画像が出る。  
MOVIEモードで記録された画像は通常よりもひとまわり小さく表示される。
- ② 画面上の再生スタートボタンを選び、押す。  
動画と音声再生される。

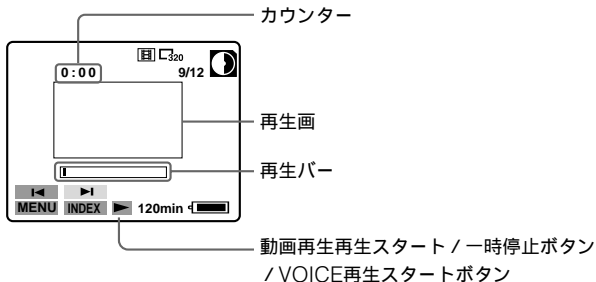
## ⇒撮って見る

### 再生中の画面表示

#### 静止画の場合



#### 動画 / VOICEの場合

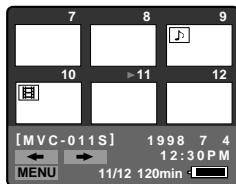




## インデックス表示中の画面操作

◀ : 前の6枚を見る。

▶ : 次の6枚を見る。



📺 : 動画ファイル

🎵 : 音声記録されているファイル

- 1枚の表示(シングル画面)に戻すときは、コントロールボタンで▶を移動し、見たい画像を選び、押す。
- 画像右上の番号はフロッピーディスク内の記録順を示す番号です。ファイル番号(25ページ)とは違いますのでご注意ください。

## 再生中はこんな機能が使えます

液晶画面の明るさを調節する(6ページ)

スピーカーの音量を調節する(7ページ)

撮った画像を誤除去防止の状態にする - PROTECT(26ページ)

撮った画像を他のフロッピーにコピーする - COPY(27ページ)

撮った画像を消去する - DELETE(28ページ)

### ご注意

本機で記録された画像は、MVC-FD5/FD7/FD51/FD71/FDR1/FDR3では正しく再生できないことがあります。

## 主な電池の使用時間 / 撮影可能枚数

### STILL (静止画) 時

NP-F530	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時*	約90分(80分)	約1100枚(950枚)
連続再生時**	約160分(140分)	約2400枚(2100枚)

NP-F550	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時*	約120分(110分)	約1500枚(1350枚)
連続再生時**	約210分(190分)	約3100枚(2800枚)

温度25℃で満充電して使用したときの場合。( )内は実用充電してからの場合。画面サイズが640×480で記録モードがノーマル、画質がスタンダードの場合。フラッシュ使用時も使用時間、撮影 / 再生枚数は同じです。画像サイズが1240×768で撮影した場合、撮影枚数は上記と比べて約10%減ります。

\* 約5秒ごとに撮影

\*\* 約4秒ごとにシングル画面を送りながら再生

### MOVIE (動画) 時

NP-F530	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時	約100分(90分)	約65枚(55枚)

NP-F530	使用時間	撮影 / 再生枚数
連続撮影時	約140分(125分)	約90枚(80枚)

温度25℃で満充電して使用したときの場合。( )内は実用充電してからの場合。画像サイズが160×112の場合。

- 低温時、電源の入 / 切やズームをくりかえした時、時間 / 枚数は減ります。
- フロッピーディスクの容量は限られています。上記はフロッピーを交換しながら連続撮影 / 再生したときの目安です。



## パソコンで見る

本機で撮影した静止画像データはJPEG方式で、動画像・音声データはMPEG方式で圧縮されています。

JPEG、MPEG画像を見ることのできるアプリケーションがインストールされているパソコンで、フロッピーディスクの画像を見ることができます。

画像の取り込みなど詳しい操作方法については、各アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

例：Windows 95がインストールされているパソコンでの操作

- 1 パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのディスクドライブに入れる。
- 2  マイコンピュータを開き、 3.5インチFD (A: )をダブルクリックする。
- 3 見たい画像のファイルをダブルクリックする。

## 推奨OS / アプリケーション例

OS	アプリケーション
•Windows 3.1	• Microsoft Internet Explorer 4.0
•Windows 95以降	• Netscape Navigator など
•Windows NT3.51以降など	

お手持ちのパソコンにInternet Explorerのようなブラウザソフトがインストールされている場合、本機で撮影されたフロッピーディスク内の「MAVICA.HTM」をダブルクリックすると記録されている画像の一覧リストが表示されます。

## ⇒撮って見る

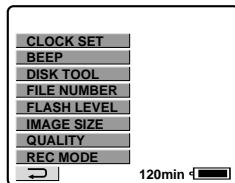
### ご注意

---

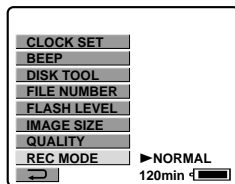
- MPEGファイルを再生するにはActive Movie Player( Direct Show )をインストールしてください。
- MOVIEまたはVOICEモードで記録されたファイルを再生するときは、パソコンのハードディスクにコピーをしてください。フロッピーディスクで再生すると、画像や音が途切れることがあります。
- Windows 3.1ではMPEGファイルを扱えません。
- BITMAPモードで撮影した非圧縮画像( 22ページ )を開くには、BITMAP画像を見ることができるアプリケーションが必要です。
- マッキントッシュではMac OS システム7.5以降のPC Exchangeを使うと、本機で撮影したフロッピーディスクを使用することができます。画像を開くにはマッキントッシュ用アプリケーションが別途必要です。MPEGファイルを再生するにはQuick Time 3.0をインストールする必要があります。

# メニューで設定を変える

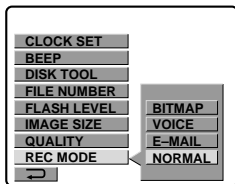
- 1 コントロールボタンで「MENU」を選び、押す。  
メニュー画面が表示される。



- 2 コントロールボタンで希望の項目を選び、押す。  
各項目は、選択されると青色から黄色  
に変わり、コントロールボタンを押す  
と設定項目が表示される。



- 3 コントロールボタンで希望の設定を選び、押す。  
設定が終わると手順1のメニュー画面  
に戻る。



## 中止するとき

コントロールボタンの左を押す。  
メニュー画面に戻る。メニュー画面から抜きたいときは、コントロール  
ボタンで「☐」を選び、押す。

⇒メニューで設定を変える

## 各設定項目の説明 印はお買い上げ時の設定

PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」のとき

REC MODE (記録モード)

- 
- |  |  |
|--|--|
| NORMAL                                     | 選択した画像サイズでJPEGファイルを記録する。   |
| <input checked="" type="checkbox"/> E-MAIL | (640×480)または(1024×768)のJPEGファイルに加えて、(320×240)のJPEGファイルを記録する。(320×240)サイズの画像はデータ量が少なく、Eメール転送などに適している。   |
| <input type="checkbox"/> VOICE             | JPEGファイルに加えて、音声ファイル(静止画付き)を記録する。<br>シャッターをポンと1回押すと:5秒間音声記録される。<br>シャッターを押し続けると :押し続けている間最長40秒間音声記録される。 |
| <input type="checkbox"/> BMP BITMAP        | JPEGファイルに加えて、非圧縮画像(640×480)を記録する。よりきめ細かく鮮明に画像を記録するのに適している。   |

記録モード	IMAGE SIZE	記録されるファイル	ファイル名 (例)**	フロッピーディスク1枚に 撮影できる枚数の目安		
			MVC-	STANDARD	FINE	
NORMAL	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768)	001L.JPG			
		インデックス 画面用	001L.411	10~16	6~8	
	640 × 480	JPEG画像 (640×480)	001S.JPG			
		インデックス 画面用	001S.411	25~40	15~20	
E-MAIL	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768)	001L.JPG			
		JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001E.JPG 001L.411	9~14	5~7	
	640 × 480	JPEG画像 (640×480)	001S.JPG			
		JPEG画像 (320×240) インデックス 画面用	001E.JPG 001S.411	20~35	12~15	
VOICE	1024 × 768	JPEG画像 (1024×768)	001L.JPG			
		静止画(320 ×240)付き MPEG音声 インデックス 画面用	001A.MPG 001L.411	4~9	3~6	
	640 × 480	JPEG画像 (640×480)	001S.JPG			
		静止画(320 ×240)付き MPEG音声 インデックス 画面用	001A.MPG 001S.411	5~14	4~10	

使  
い  
こ  
な  
す

## ⇒メニューで設定を変える

記録モード	IMAGE SIZE	記録されるファイル	ファイル名 (例)**	フロッピーディスク1枚に 撮影できる枚数の目安		
			MVC-	STANDARD	FINE	
BITMAP*	1024 × 768	JPEG画像 (1024 × 768)	001L.JPG			
		非圧縮画像 (640 × 480)	001L.BMP	1		1
		インデックス 画面用	001L.411			
	640 × 480	JPEG画像 (640 × 480)	001S.JPG			
		非圧縮画像 (640 × 480)	001S.BMP	1		1
		インデックス 画面用	001S.411			

\* BITMAP選択時の非圧縮画像はIMAGE SIZEの設定にかかわらず、(640 × 480)サイズの画像になります。

\*\* 画質でFINEモードを選択した場合、ファイル名の末尾はXまたはFになります。  
(ex. MVC-001X.JPG)

### ご注意

- インデックス画面用のデータは本機以外のパソコンなどでは見ることはできません。
- ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとする、「DISK FULL」が出て撮影不能になります。
- E-MAILモードでは、(320 × 240)サイズのファイルは別フォルダに保存されます。圧縮率は画質の設定によらず一定です。
- BITMAP撮影をする時は、約1MBの残容量が必要です。BITMAP画像の記録後「DISK FULL」の表示が出ます。
- VOICEモードで記録された画像を再生すると、通常の再生画面よりひとまわり小さいサイズで表示します。
- ディスク残量表示が点滅したまま撮影を続けると、画像や音声記録されないことがあります。



## QUALITY (画質)

FINE	高画質
STANDARD	標準の画質

## IMAGE SIZE (画像サイズ)

<input type="checkbox"/> 1024	1024 × 768	JPEG画像を1024 × 768サイズで記録する。
<input type="checkbox"/> 640	640 × 480	JPEG画像を640 × 480サイズで記録する。

## FLASH LEVEL (フラッシュレベル)

HIGH	フラッシュの発光量を通常より多くする。
NORMAL	通常の設定。
LOW	フラッシュの発光量を通常より少なくする。

## PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」のとき

### IMAGE SIZE (画像サイズ)

<input type="checkbox"/> 160	160 × 112	MPEG画像を160 × 112サイズで記録する。
<input type="checkbox"/> 320	320 × 240	MPEG画像を320 × 240サイズで記録する。

IMAGE SIZE	記録されるファイル	ファイル名 (例) MVC-	フロッピーディスク 1枚に撮影できる 時間*
160 × 112	MPEG画像(160 × 112) インデックス画面用	001V.MPG 001V.411	60秒
320 × 240	MPEG画像(320 × 240) インデックス画面用	001W.MPG 001W.411	15秒

\* 連続して撮影した場合

## PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」のとき

### FILE NUMBER (ファイル番号)

SERIES	フロッピーが変わってもファイル番号を連続して付ける。
NORMAL	フロッピーごとにファイル番号をリセットする。

## ⇒メニューで設定を変える

### PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」のとき

#### PROTECT (誤消去防止)

---


表示中の画像の誤消去を防止します。



誤消去防止したい / 解除したい画像を表示中にメニュー操作します。

##### シングル画面のとき

- |     |                 |
|-----|-----------------|
| ON  | 表示中の画像の誤消去を防止する |
| OFF | 消去可能にする         |

##### インデックス画面のとき

- |        |                        |
|--------|------------------------|
| ALL    | 本機で撮影された全ての画像の誤消去を防止する |
| SELECT | 選んだ画像の誤消去を防止する         |
- ① コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。  
コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。
  - ② コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。  
コントロールボタンを押すとが表示されます。

インデックス画面で、誤消去防止を解除する(消去可能にする)には、手順①で、が表示されている画像を選び、コントロールボタンを押す。が消えます。

解除したらコントロールボタンで「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

---

## COPY(コピー)

---

表示中の画像を別のフロッピーディスクへコピーします。  
コピーしたい画像を表示中にメニュー操作します。

### シングル画面のとき

OK 表示中の画像をコピーする  
CANCEL コピーを中止する

### インデックス画面のとき

ALL 本機で撮影された全ての画像をコピーする  
SELECT 画像を選んでコピーする

- ① コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。  
コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。
- ② コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

---

他のフロッピーディスクへのコピー

- 1 シングル画面のときは、「OK」を選ぶ。  
インデックス画面のときは、「ALL」を選び「OK」を押す、または、「SELECT」を選び上の手順①、②で画像を選ぶ。  
「CHANGE FLOPPY DISK」の表示が出る。
  - 2 フロッピーディスクを取り出す。  
「INSERT FLOPPY DISK」の表示が出る。
  - 3 別のフロッピーディスクをカチッと音がするまで入れる。  
「DISK ACCESS」の表示が出る。
  - 4 コピーが終了すると、「COMPLETE」の表示が出る。  
別のフロッピーディスクへコピーするときは、コントロールボタンで「CONTINUE」を選んで押し、手順2～4を繰り返す。  
終了するときは、コントロールボタンで「EXIT」を選んで押す。
- 

### ご注意

- 残容量の少ないフロッピーディスクにコピーしようとする、「DISK FULL」が表示されることがあります。
- コピーを途中で中止したいときは(1～4の手順の途中)、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り替えるか、電源を切ってください。

## ⇒メニューで設定を変える

### DELETE (消去)

---

表示中の画像を消去します。

消去したい画像を表示中にメニュー操作します。

#### シングル画面のとき

OK	表示中の画像を消去する
CANCEL	消去を中止する

#### インデックス画面のとき

ALL	本機で撮影された全ての画像を消去する
SELECT	画像を選んで消去する

- ① コントロールボタンで画面左上に出る▶を動かし、選ぶ。  
コントロールボタンを押すと画面番号が反転します。中止するときにはもう一度コントロールボタンを押すと、反転した番号が戻ります。
- ② コントロールボタンで画面左下の「ENTER」を選び、押す。

中止するとき

コントロールボタンで「CANCEL」を選び、押す。メニュー画面に戻る。

---

### ご注意

---

- 1度消去した画像はもとに戻せません。消去する前に内容を確認してください。
- 「ALL」消去を実行しても誤消去防止されている画像は消去できません。
- 「SELECT」消去を選んだとき、誤消去防止されている画像は選択できません。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチがPLAY/STILL/MOVIEのいずれかのとき

### DISK TOOL (ディスクツール)

---

FORMAT (初期化)	本機に入っているフロッピーディスクを初期化する。
DISK COPY	フロッピーディスク内の全てのデータをコピーする。

---

他のフロッピーディスクへのDISK COPY

- 1 メニューのDISK COPYを選び「OK」を押す。  
「FILE ACCESS」の表示が出る。
- 2 FILE ACCESS終了後「CHANGE FLOPPY DISK」と表示されたら、  
フロッピーディスクを取り出す。
- 3 「INSERT FLOPPY DISK」表示が出たら別のフロッピーディスクを入れる。  
「DISK ACCESS」の表示が出る。
- 4 「COMPLETE」表示が出たら完了。  
別のフロッピーディスクへコピーするときは、コントロールボタンで  
「CONTINUE」を選んで押し、手順2～4を繰り返す。  
終了するときは、コントロールボタンで「EXIT」を選んで押す。

---

#### ご注意

- 1～4の手順の途中で中止したいときは、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを切り替えるか、電源を切ってください。
- 初期化するとフロッピーディスクの内容は全て失われます。また、DISK COPYするとコピー先のフロッピーディスクの内容は全て失われます。  
初期化またはDISK COPYする前に内容を確認してください。画像に誤消去防止  
されていても消去されますのでご注意ください。
- 必ずバッテリーが十分に充電された状態で初期化してください。  
初期化には最大約1分かかります。
- DISK COPYするときは、必ず初期化されたフロッピーディスクをお使いください。

---

#### BEEP(お知らせブザー)

ON	コントロールボタン/シャッターを押したときなどに ブザー/シャッター音が鳴る。
OFF	音は鳴らない。

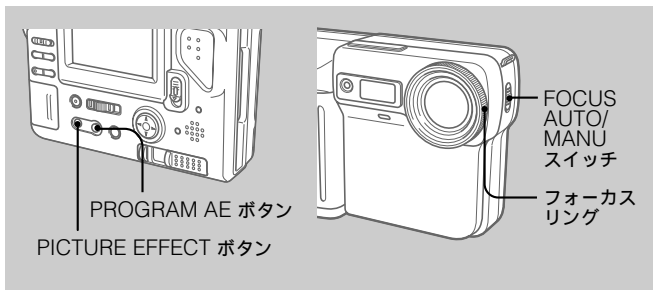
---

#### CLOCK SET(日付合わせ)

日付・時刻を合わせる。詳しくは10ページ。

---

# 撮影のための各機能



## 手動でピントを合わせる

- 1 FOCUSスイッチを「MANU」に合わせる。  
手動ピント合わせ表示 $\odot$ が出る。
- 2 フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。  
●●が表示される位置がピントの合っている位置の目安です。  
自動調節に戻すにはFOCUSスイッチを「AUTO」に合わせる。

### ご注意

- 暗いところで撮影する場合、手動でピントを合わせる、またはプログラムAEのパンフォーカスモードに設定して撮影することをおすすめします。
- 暗いところで使用すると●●マークが表示されないことがあります。

## 画像に特殊効果を与える — ピクチャーエフェクト

PICTURE EFFECTボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。







- NEG. ART(ネガアート) : 写真のネガフィルムのように  
SEPIA(セピア) : 古い写真のような色合いに  
B&W(モノトーン) : 白黒に  
SOLARIZE(ソラリ) : 明暗をはっきりさせたイラストのように

解除するには、PICTURE EFFECTをくり返し押して画面内の表示を消す。電源を切るか「PLAY」にすると、自動的に解除されます。

## 目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況に合わせて調節を自動的に行います。

PROGRAM AEボタンをくり返し押して希望のモードを選ぶ。


-  ソフトポートレートモード：人物・花などを撮影するとき、背景をぼかす。
-  スポーツレックスンモード：動きの速いものを撮るときのブレ防止。
-  ビーチ&スキーモード：照り返しが多い場所で、人物が暗くならないようにする。
-  サンセット&ムーンモード：夕焼け、夜景、花火、ネオンサイン等に合わせる。
-  風景モード：山など遠景を際立たせ、手前の窓ガラスや金網にピントを合わせない。
-  パンフォーカスモード：気軽に近くの被写体から遠くの被写体を撮影する。またはフォーカスの合わせにくい暗い場所でのストロボ撮影に便利です。

解除するにはPROGRAM AEボタンをくり返し押して画面内の表示を消す。

### ご注意

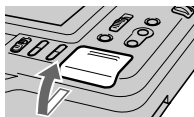
- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようオートフォーカスをコントロールしています。
  - スポーツレックスンモード
  - ビーチ&スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようオートフォーカスをコントロールしています。
  - サンセット&ムーンモード
  - 風景モード
- パンフォーカスモードでは、ズーム位置やフォーカスを固定しています。

# ボタン型リチウム電池を交換する

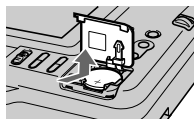
「」の点滅表示が液晶画面に出たときはボタン型リチウム電池を交換してください。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。電池残量のあるバッテリーを本体に入れて交換すれば、日付・時刻の再設定は不要です。

ボタン型リチウム電池は合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持します。ボタン型リチウム電池は+と-の向きを正しく入れてください。

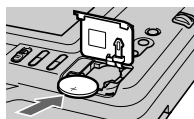
- 1 ボタン型リチウム電池カバーを横にスライドさせてから開ける。



- 2 ボタン型リチウム電池を押し上げながら引き出す。



- 3 ボタン型リチウム電池の+ (プラス)面が見えるようにはめ込む。



- 4 ボタン型リチウム電池カバーを閉める。





# 使用上のご注意

## お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにするをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

## フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- クリーニングディスクは2HDタイプのみ使用できます。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

## ⇒使用上のご注意

### 動作温度にご注意ください。

本機の動作温度は約0 ~ 40 です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

### 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密閉します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。液晶画面に「C: : 」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。38ページをご覧ください。

症状	原因 / 処置
操作を受け付け ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• インフォリチウムバッテリーを使用していない。 ➔ インフォリチウムバッテリーを使う。(10ページ)</li><li>• フロッピーディスクの位置がずれている。 ➔ フロッピーディスクを取り出して入れ直す。 (5ページ)</li></ul>
撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」になっていない。 ➔ 「STILL」または「MOVIE」にする。(12ページ)</li><li>• フロッピーディスクが入っていない。 ➔ 初期化されたフロッピーディスクを入れる。</li><li>• フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。 ➔ 書き込み可能にする。(5ページ)</li></ul>
ノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>• テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。 ➔ テレビなどから離して置く。</li></ul>
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 逆光になっている。 ➔ 画像の明るさを調節する。(7ページ)</li><li>• 液晶画面の明るさを調節する。(6ページ)</li></ul>
フラッシュ撮影が できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 設定が発光禁止になっている。 ➔ AUTOまたは強制発光に設定する。(7ページ)</li></ul>
正しい撮影日時が 記録されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>• 日付・時刻を合わせていない。 ➔ 日付・時刻を合わせる。(10ページ)</li></ul>
明るい被写体を写 すと、縦に尾を引 いたような画像に なる。	<ul style="list-style-type: none"><li>• スミア現象という現象。 ➔ 故障ではない。</li></ul>

## ⇒故障かな？と思ったら

症状	原因 / 処置
バッテリーの消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 温度が極端に低いところで撮影 / 再生している。</li><li>● 充電が不十分。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 十分に充電する。</li></ul></li><li>● バッテリーそのものの寿命。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 新しいバッテリーに交換する。</li></ul></li></ul>
ズームが効かない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● プログラムAEがパンフォーカスモードになっている。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 解除する。(31ページ)</li></ul></li></ul>
再生ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」になってない。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 「PLAY」にする。(15ページ)</li></ul></li></ul>
パソコンで再生すると画像や音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● フロッピーディスクで再生している。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ パソコンのハードディスクにコピーをして、そのファイルで再生する。(20ページ)</li></ul></li></ul>
パソコンで再生できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>➔ パソコンメーカー又はソフトウェアメーカーにお問い合わせ下さい。</li></ul>
画像を消去できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 誤消去防止になっている。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 誤消去防止を解除する。(26ページ)</li></ul></li></ul>
電源が途中で切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 電源を入れる。</li></ul></li><li>● バッテリーが消耗している。<ul style="list-style-type: none"><li>➔ 充電されたバッテリーを入れる。</li></ul></li></ul>

# 警告表示について

液晶画面には次のような表示が出ます。説明にしたがってチェックしてみてください。

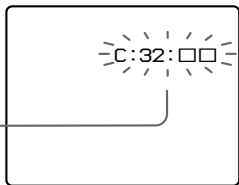
表 示	意 味
DRIVE ERROR	フロッピードライブの異常。
NO DISK	フロッピーディスクが入っていません。
DISK ERROR	フロッピーディスクの異常。 または、MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)以外のフロッピーディスクが入っています。
DISK PROTECT	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっています。
DISK FULL	フロッピーディスクがいっぱいで記録できません。
NO FILE	画像が記録されていません。
FILE ERROR	画像再生時の異常。
FILE PROTECT	画像に誤消去防止がかけられています。
⚡	バッテリーの残量がありません。
🔋	ボタン型リチウム電池が消耗しています。

# 自己診断表示

## — アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁( )の数字は、本機の状態によって変わります。



### 自己診断表示

- 「C: : 」:  
お客様自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E: : 」:  
デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:	初期化していないフロッピーディスクを入れた。  本機では使えないフロッピーディスクを入れた。 データが壊れている。	初期化する。(26ページ)  フロッピーディスクを交換する。 (5ページ)
E:61: E:91:	お客様自身では対応できない異常が起きている。	デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、サービス番号の5桁のすべてをお知らせください。例：E:61:10

# 主な仕様

## システム

撮像素子 1/3インチカラーCCD

レンズ 3倍ズームレンズ  
f=5.2 ~ 15.6 mm  
(35 mmカメラ換算では37 ~ 111 mm)  
F2.0 ~ 2.1

露出制御 自動

ホワイトバランス  
自動

## データ圧縮方式

動画 MPEG1  
静止画 JPEG  
音声(静止画付き)  
MPEG AUDIO  
(モノラル)

記憶媒体 3.5 インチ 2HDフ  
ロッピーディスク  
(1.44 Mバイト)  
MS-DOSフォーマッ  
ト

フラッシュ 推奨撮影距離  
0.5 m ~ 2.5 m

## 液晶画面

画面サイズ 2.5型

## 使用液晶パネル

TFT(薄膜トランジス  
タアクティブマトリッ  
クス)駆動

総ドット数 84260ドット

## 電源・その他

使用バッテリー  
NP-F530/NP-F550

電源電圧 バッテリー端子入力  
7.2 V

消費電力(撮影時)  
3.5 W

動作温度 0 ~ +40

保存温度 -20 ~ +60

## 最大外形寸法

140.5×104.5×61  
mm(幅×高さ×奥行  
き)

本体質量 約660 g(バッテリー、  
フロッピーディスク、  
レンズキャップなど含  
む)

## 内蔵マイクロホン

エレクトリックコンデ  
ンサマイクロホン

## 内蔵スピーカー

ダイナミックスピー  
カー

## 付属品

リチウム電池 CR2025  
(本体に装着済み)(1)  
レンズキャップ(1)  
レンズキャップ用ひも(1)  
取扱説明書(1)  
安全のために(1)  
保証書(1)

本機の仕様および外観は、改良のため  
予告なく変更することがありますが、  
ご了承ください。

そ  
の  
他

# 保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスクなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障かな？と思ったら”の項を参考に、して故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはデジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、デジタルマピカテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

## 海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

別売りのバッテリーチャージャーBC-V615はAC 100V ~ 240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。



# 索引

## ア行

明るさ調節	
液晶画面 .....	6
画像 .....	7
インデックス画面 .....	17
“インフォリチウム”バッテリー .....	10
液晶画面で見る	
静止画 .....	15
動画 .....	15
オートパワーオフ機能 .....	9
お知らせブザー (BEEP) .....	29
お手入れ .....	33

## カ行

海外で使うとき .....	40
画質 (QUALITY) .....	25
画像サイズ (IMAGE SIZE) .....	25
画面表示 .....	14、16
記録モード (REC MODE) .....	22
警告表示 .....	37
結露 .....	34
誤消去防止 (PROTECT) .....	26
コントロールボタン .....	6

## サ行

撮影する	
静止画 .....	12
動画 .....	13
自己診断機能 .....	38
実用充電 .....	8
充電 .....	8
手動ピント合わせ .....	30
消去 (DELETE) .....	28
初期化 (FORMAT) .....	28
シングル画面 .....	17
ズーム .....	7
セルフタイマー撮影 .....	7

## ハ行

パソコンで見る .....	19
バッテリー .....	8、9
バッテリー残量表示 .....	9
バッテリーチャージャー .....	8
ピクチャーエフェクト .....	30
日付・時刻合わせ .....	10
フラッシュ撮影 .....	7
プログラムAE .....	31
フロッピーディスク .....	4、33
ボタン型リチウム電池 .....	32

## マ行

満充電 .....	8
メニュー .....	21

## アルファベット順

AE(自動露出) .....	12
BITMAP .....	22
COPY .....	27
DISK COPY .....	28
DISK TOOL .....	28
E-MAIL .....	22
FILE NUMBER .....	25
FLASH LEVEL .....	25
JPEG .....	19、22
MPEG .....	19、25
VOICE .....	22





# デジタルスチルカメラ

## MVC-FD81

### ご案内

デジタルスチルカメラMVC-FD81をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この度ソニーでは、お買い上げいただいたデジタルスチルカメラのご相談窓口「デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンター」を開設いたしましたので、ご案内させていただきます。

### デジタルマビカ テクニカルインフォメーションセンター

電話: 0564-62-4979

受付時間: 月～金 午前9時～午後5時

(ただし、年末、年始、祝日を除く)

万一不具合が生じた時には

製品の品質には万全を期しておりますが、万一ご使用中に動作しない、記録できないなどの故障が生じた場合は、上記の「デジタルマビカテクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。修理に関するご案内をさせていただきます。

また修理が必要な場合は、お客様のお宅まで指定宅配便で取りにお伺いしますので、先ずお電話をください。